

下関市合併

10周年

平成17年2月13日に下関市・菊川町・豊田町・豊浦町・豊北町が合併して誕生した「新」下関市は、平成27年に10周年を迎えます。今回の特集では、合併後のこれまでの足跡を振り返ります。

2005年(平成17年)
2月 新市誕生



新たな下関市は、ここから始まった。
10月には、県内で唯一の中核市誕生。

2006年(平成18年)

1月 下関駅焼失



姿を消してしまった下関駅



わたしたちのまちの これまでの10年

2008年(平成20年)

11月 第1回下関海響マラソン開催



全国でも人気のマラソン大会に育った
海響マラソンが始まったのも、
この10年のうち。

2007年(平成19年)

8月 朝鮮通信使400周年記念事業



7月 山陰観光列車
「みずぎ潮彩」運行開始





2013年(平成25年)

9月 アミューズメント施設
「はい! からっと横丁」オープン

また一つ、まちの灯りが増えました。



2009年(平成21年)

4月 火の山公園トルコチューリップ園開園



2010年(平成22年)

1月 川棚温泉交流センターオープン



7月 市内豪雨(木屋川氾濫)



2012年(平成24年)

8月 ロンドン五輪で活躍した
下関市出身の2選手に「栄誉賞」授与

市内出身のオリンピック
選手は、まちの誇りです。



3月 道の駅
「比漕街道 豊北」オープン



4月 ふくふくこども館オープン



2月 新しい勝山公民館
オープン



2011年(平成23年)

3月 東日本大震災の被災地支援



10月 「おいでませ! 山口国体」
「おいでませ! 山口大会」開催



2014年(平成26年)

3月 JR下関駅ビル開業

旧駅舎のシンボル「三角屋根」を取り入れた
新しい駅ビルが完成。次の10年に向かって歩きだしました。

1

魅力あふれる
人・文化を育み、
いきいきと交流するまち



歴史や伝統、芸術、スポーツなどを通して、地域への誇りや愛着を持つ取り組みを進め、市民の文化やスポーツ活動を振興することにより、心豊かな市民生活の充実を図ります。さらに、その豊かさをみんなが共有して都市の魅力を高め、情報発信することにより、観光や国際交流にもつながる、多くの人が行き交い交流する拠点都市づくりを進めます。



2

多彩な人が輝き、
活力ある産業が
振興するまち



産業振興は人材が基になることを踏まえ、人材育成や交流の機会が充実するまちを目指し、国内外を視野に入れた戦略的な産業振興を進めます。農林水産業や商工業の活性化を図るとともに、若者や高齢者が能力を十分に発揮できるような就業機会の確保に努めます。

わたしたちのまちのこれからの10年(総合計画)

総合計画は、本市が将来目指す市民生活や地域社会の姿をわかりやすく示し、その実現にあたって必要な施策を定めるもので、行政経営の最も基礎となる計画です。

平成17年2月、1市4町合併により新たに誕生した本市は、新市まちづくり計画とそれに続く「下関市総合計画」に基づき施策を展開してきました。

平成26年度末にこの第1次総合計画の期間が終了することから、これまでの歩みを踏まえ、今後の10年間を見通す新しいまちづくり全般のマスタープランとして、「第2次下関市総合計画」を策定しました。

市民・事業者・行政の力を結集し、「まちづくりの基本理念」と8つの「まちづくりの将来像」の実現を目指します。



6

誰もが安全で安心して
暮らせるまち

東日本大震災や局地的な集中豪雨、台風などの相次ぐ自然災害の教訓を踏まえ、ハード・ソフトを組み合わせた防災・減災対策を進め、本市の防災力の向上を図ります。日常生活に欠かすことのできないライフラインを安定・快適に保つための更新・整備を行います。

5

効率的で活動しやすい
都市機能を備えるまち



都市の魅力を高めるため、中心市街地から農山漁村に至る多様な地域特性を活かしながら、道路や公園、情報通信など快適で利便性の高い都市機能の強化を図る一方、各地域の適正な役割分担とそれらの連携による一体的で持続可能なまちづくりを推進します。





④

美しく潤いのある
自然やまちなみと人
が共生するまち



関門海峡や長く美しい山陰海岸、緑豊かな山並み、ホタルの生息する清らかな河川、歴史あるまちなみなどの自然や景観の適切な保全と活用を図ります。環境への取り組みとして、再生可能エネルギーの導入・活用など地球温暖化対策による低炭素社会の構築や、ごみの減量化・資源化などによる循環型社会の構築を目指します。



③

みんながともに学び、
ともに楽しむ、
人を育てるまち

妊娠・出産期からの切れ目のない総合的な子ども・子育て支援や、子どもたち一人ひとりに「生きる力」(確かな学力、豊かな心、健やかな体)を養う質の高い教育環境の整備、学校・家庭・地域が連携した社会全体の教育力を高める取り組みを進めます。



まちづくり
念理本基のり

～まちの誇りと自然の恵みを未来へつなぐ
輝き海峡都市・しものせき～

本市には、自然がもたらす豊かな恵み、先人たちが培ってきた歴史や文化など特徴的な資源が数多く存在します。これらは、他に類を見ないまちの誇りであり、貴重な財産です。誇りある「ふるさと下関」で暮らす幸せをよ

り実感し、愛着を深め、知りたい、行きたい、住みたい魅力あるまち「輝き海峡都市・しものせき」の実現を目指します。

企画課(☎231-1911)

⑧

人のつながりを大切にし、
地域の力が活きるまち

本市の特徴や市民のニーズを踏まえ、市民と行政がお互いの役割を認識しながらさまざまな場面で協働し、地域の個性を生かした「住民自治によるまちづくり」の仕組みを構築します。市民が市政に積極的に参画できる多様な手段の活用などによる市民サービスの向上を図るとともに、市民の理解が深まり、信頼される行政経営を行います。



⑦

人と人が支え合う
誰もが健やかで
笑顔があふれるまち



人と人のつながりを大事にしみんなで支え合う、高齢者や障害者をはじめとするすべての市民が生きがいを持って健やかに暮らせる地域社会を構築します。保健・医療・福祉を充実し、市民の健康を守るとともに、地域がつながり、支え合う地域福祉の実現を目指します。

